

第153回

2023. 4. 28

# 企業経営動向調査

公益財団法人 徳島経済研究所

- 調査目的** 徳島県内の企業動向を的確に把握すること
- 対象企業** 県内主要企業 1,490社、回答企業 356社、回答率 23.9%
- 調査対象期間** 2023年1～3月期の実績見込み、4～6月期および7～9月期の予想
- 調査時点** 2023年3月上旬～4月上旬
- ※1～3月期をⅠ期、4～6月期をⅡ期、7～9月期をⅢ期、10～12月期をⅣ期とする。
- ※今回調査は対象企業を大幅に拡充したことから、152回調査以前とは母数が異なるため、前年・前期との比較には注意が必要。

## 要約

### 2023年1～3月期の業況判断(季節調整済)は改善

#### 先行き4～6月期はやや悪化するものの、7～9月期は改善する見通し

県内企業(全産業)経営動向調査結果によれば、業況判断BSI(季節調整済)について、2022年Ⅳ期( $\Delta 20$ )と比べ2023年Ⅰ期( $\Delta 9$ )は改善(+11ポイント)した。なお、前回調査時の予想( $\Delta 8$ )とほぼ同じ水準。業種別では、製造業(同 $\Delta 28 \rightarrow \Delta 12$ )、非製造業(同 $\Delta 15 \rightarrow \Delta 8$ )はともに改善している。また、売上げBSI(同 $\Delta 5 \rightarrow 6$ )、収益BSI(同 $\Delta 13 \rightarrow \Delta 6$ )も改善した。

先行きの業況判断BSIのⅡ期予想は $\Delta 12$ とやや悪化するものの、続くⅢ期予想では $\Delta 7$ と改善に向かう見通し。

2023年Ⅰ期の設備投資は、実施企業の比率は前年同期と比べ7.8ポイント低下、総投資額は約393億円で同15.5%減少した。業種別では、製造業が同19.9%減、非製造業が同61.7%増であった。先行きⅡ期の計画は、実施企業の比率は同14.3ポイント低下、総投資額は約756億円で同280.9%増の見込み。もっとも、本調査の回答企業数が大幅に増加していることに注意が必要。続くⅢ期は、約231億円で同13.6%減と減少に転じる見込みである。

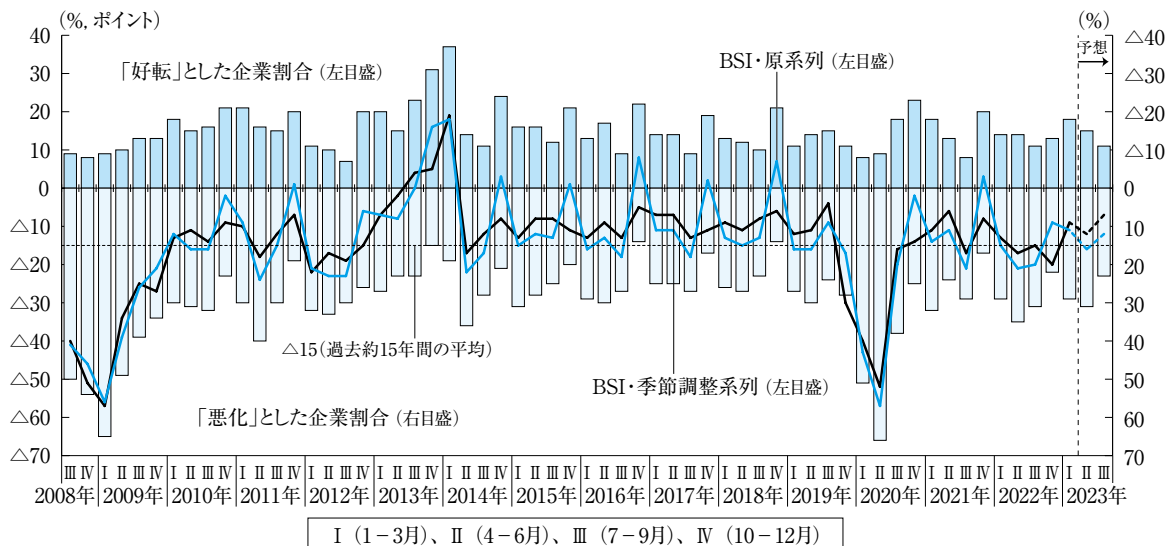
なお、今後1年間の設備投資意欲については、2022年Ⅳ期と比べ、製造業は改善するも、非製造業は悪化している。

1. 概況  
(全業種)

【2023年1～3月期の実績見込み】業況判断は改善

県内企業のI期のBSI(業況が「好転(増加)」と回答した企業割合から「悪化(減少)」と回答した企業割合を引いた数値(季節調整済))をみると、2022年IV期と比べ、業況判断BSI(△20→△9)、売上げBSI(△5→6)、収益BSI(△13→△6)とすべての項目で改善した。原材料およびエネルギーの価格上昇や不安定な国際情勢などによる不透明感は依然根強いものの、アフターコロナへ向けて明るい兆しがみえてきたことが影響していると思われる。

企業経営者による業況判断

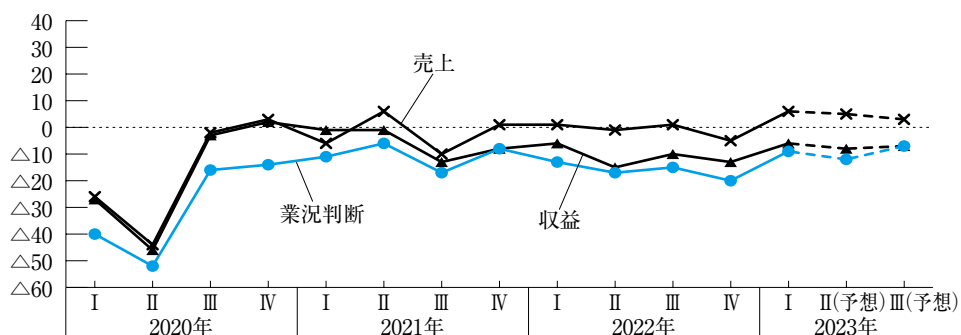


注：季節調整は、米国センサス局開発のX-12-ARIMAにより実施

【4～6月期・7～9月期の予想】業況判断は、II期はやや悪化、III期は再び改善する見通し

II期の予想は、I期に比べ、業況判断BSI(△9→△12)、収益BSI(△6→△8)はやや悪化するも、売上げBSI(6→5)はほぼ横ばいの見通しである。なお、この業況判断BSIは、

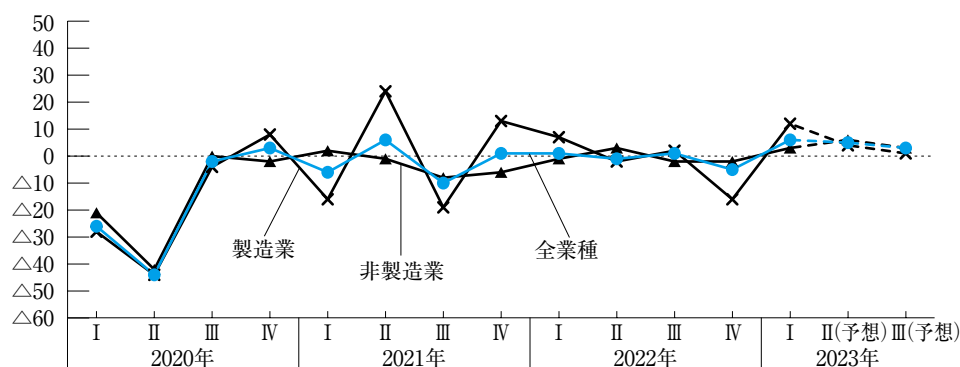
全業種BSI



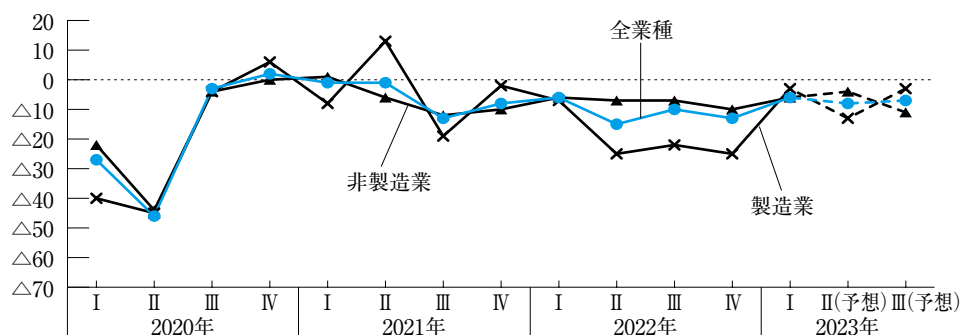
過去約15年（2008年Ⅱ期以降）の平均（△15）を上回る水準である。続くⅢ期は、業況判断BSI（△12→△7）は改善、売上げBSI（5→3）は悪化、収益BSI（△8→△7）はほぼ横ばいの見通しとなっている。

長らく影を落としてきた新型コロナがゴールデンウィーク後にインフルエンザと同等の指定感染症5類へ引き下げられることもあり、人流の増加や消費の持ち直しといった明るさや高揚感が出はじめている。一方で、種々の価格上昇などによる買い控えや合理化のため商品ラインナップを見直す動きがみられるなど、依然として不透明感が根強いことに加え、今春の賃上げ要請による人件費上昇も一部影響しているものと考えられる。また、働き方改革やDXの推進、EV化等にみられる産業構造の変化への対応なども急務であるなど、企業によって明暗が分かれてきている。

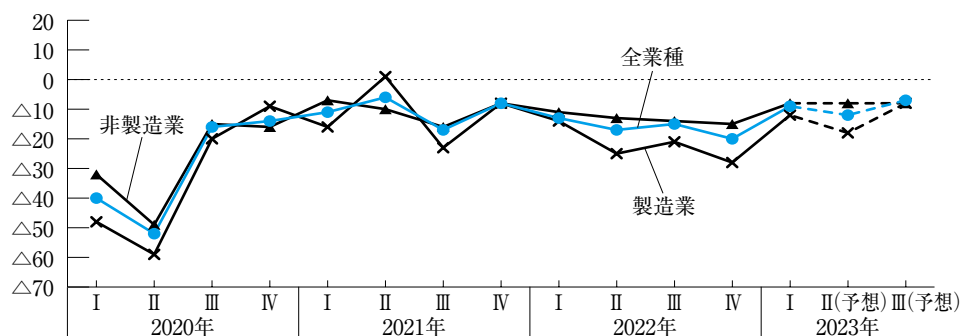
### (1) 売上げBSI



### (2) 収益BSI



### (3) 業況BSI



## 2. 製造業の動向

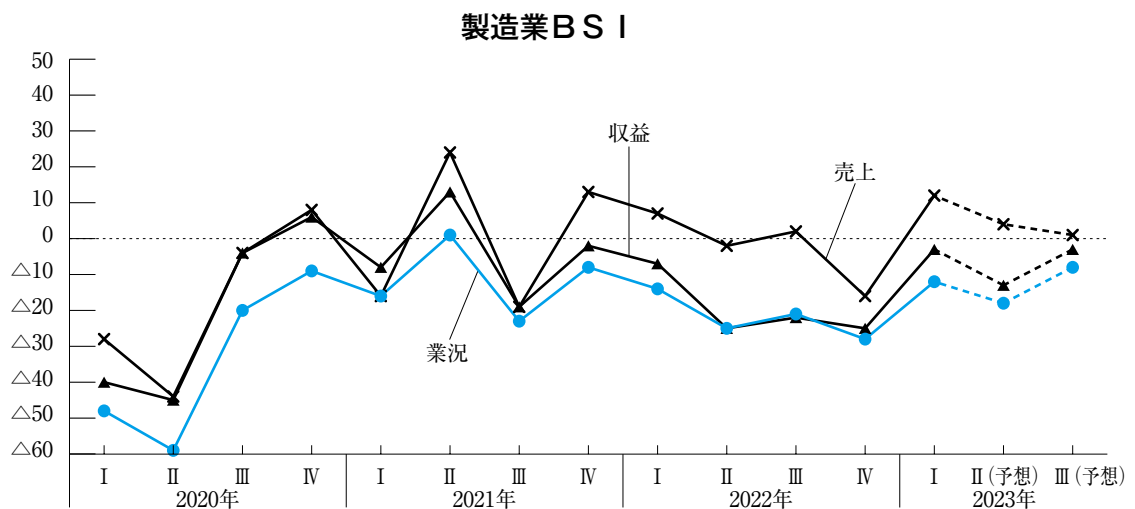
### 【製造業の現状】業況判断は大幅に改善

I 期は、2022年Ⅳ期と比べ、業況判断 BSI ( $\Delta 28 \rightarrow \Delta 12$ )、売上げ BSI ( $\Delta 16 \rightarrow 12$ )、収益 BSI ( $\Delta 25 \rightarrow \Delta 3$ ) はすべての項目で改善した。原材料やエネルギーの価格上昇などによるコスト増加分を徐々に販売価格に転嫁していることに加え、人流増加に伴う経済活動の回復への期待が現れている。

### 【先 行 き】業況判断はⅡ期で悪化するも、Ⅲ期に再び改善する見通し

Ⅱ期の予想をみると、I 期に比べ、業況判断 BSI ( $\Delta 12 \rightarrow \Delta 18$ )、売上げ BSI ( $12 \rightarrow 4$ )、収益 BSI ( $\Delta 3 \rightarrow \Delta 13$ ) は悪化となっている。続くⅢ期の予想は、売上げ BSI ( $4 \rightarrow 1$ ) は悪化するも、業況判断 BSI ( $\Delta 18 \rightarrow \Delta 8$ )、収益 BSI ( $\Delta 13 \rightarrow \Delta 3$ ) と改善となる見通し。

業況判断 BSI については、アフターコロナの人流増加への期待感はあるものの、原材料やエネルギー価格の上昇などを起因とした各種値上げや人件費上昇などによるコスト増加により、仕入れの手控えや製品ラインナップの見直し等の動きが出はじめている。なお、半導体をはじめとする部品の供給不足は改善傾向にはあるものの、正常化には至っておらず、不透明感が残っている。もっとも、コロナ禍と比較すると、上昇傾向に転じている。



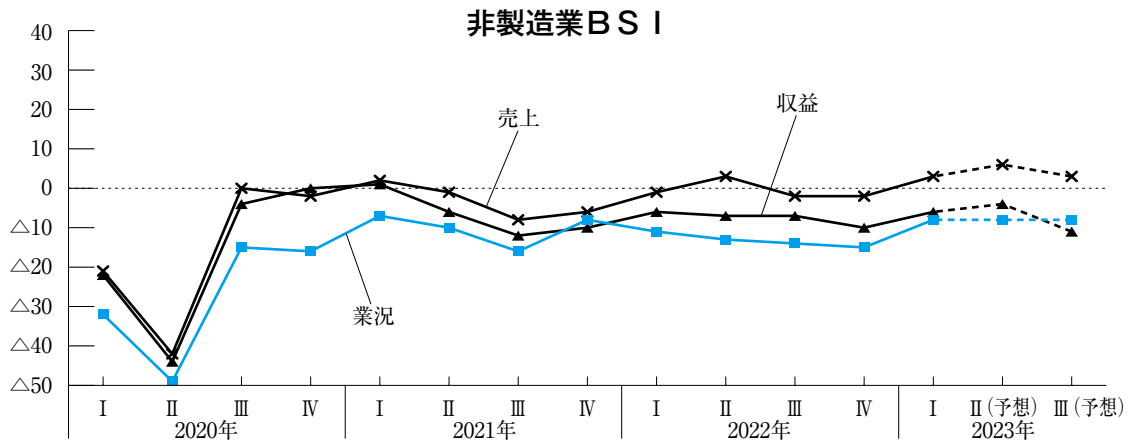
## 3. 非製造業の動向

### 【非製造業の現状】業況判断は改善

I 期は、2022年Ⅳ期に比べ、業況判断 BSI ( $\Delta 15 \rightarrow \Delta 8$ )、売上げ BSI ( $\Delta 2 \rightarrow 3$ )、収益 BSI ( $\Delta 10 \rightarrow \Delta 6$ ) はすべての項目で改善した。業況判断 BSI については、アフターコロナの兆しが強まり、足元では人流が増加していることから、期待感の高まりが現れている。

## 【先 行 き】業況判断は、Ⅱ期、Ⅲ期と横ばいの見通し

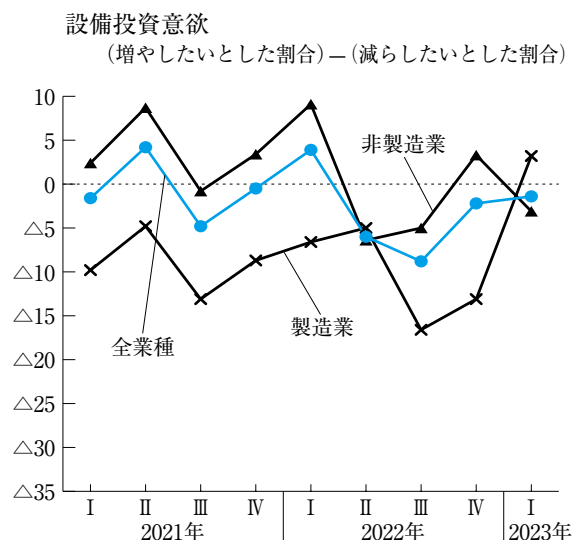
Ⅱ期予想をみると、Ⅰ期に比べ、業況判断BSI ( $\Delta 8 \rightarrow \Delta 8$ )は横ばい、売上げBSI ( $3 \rightarrow 6$ )、収益BSI ( $\Delta 6 \rightarrow \Delta 4$ )は改善する見通し。続くⅢ期予想は、業況判断BSI ( $\Delta 8 \rightarrow \Delta 8$ )は横ばいの一方、売上げBSI ( $6 \rightarrow 3$ )、収益BSI ( $\Delta 4 \rightarrow \Delta 11$ )と悪化する見通し。業況判断BSIについては、ゴールデンウィーク後には新型コロナが指定感染症5類となることから、人流のさらなる増加への期待感の高まりが現れている。一方、物価上昇による買い控えやコスト上昇分を販売価格に転嫁しきれておらず、収益悪化につながることを懸念する企業が多いことがうかがわれる。



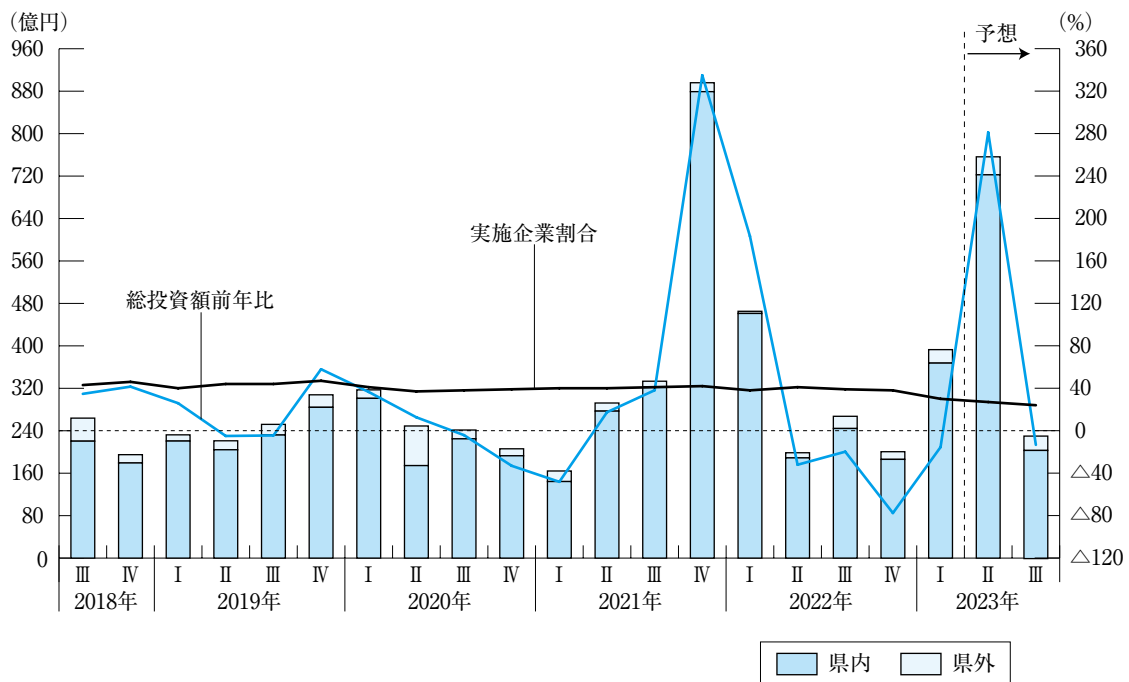
## 4. 設備投資の動向

回答企業(全産業)のうち、Ⅰ期において1百万円以上の設備投資(新リース契約を含む)を実施した企業は全体の30.1%、総投資額は392億90百万円(県内投資額は367億53百万円)であった。前年同期と比較すると、総投資額は全体で15.5%減(2022年Ⅳ期比96.0%増)で、内訳は製造業が同19.9%減、非製造業が同61.7%増であった。なお、実施企業の割合は、同7.8ポイント低下した。

先行きの計画をみると、Ⅱ期の実施企業割合は26.7%で前年同期より14.3ポイント低下、総投資額は約756億円前で前年同期比280.9%増、続くⅢ期の総投資額は約231億円で同13.6%減となる見込み。もっとも、本調査の回答企業数が大幅に増加していることに注意が必要。今後1年間の設備投資意欲(全産業)は、「増やしたい」が19.4%、「減らしたい」が20.8%、「ほぼ変わらない」が59.8%であった。「増やしたい」から「減らしたい」を差し引いた比率は、全産業で $\Delta 1.4$ ポイント(2022年Ⅳ期 $\Delta 2.2$ ポイント)と4期連続でマイナスとなったものの、上昇傾向。業種別では、製造業が+3.2ポイント(同 $\Delta 13.1$ ポイント)とプラスに転じた一方、非製造業は $\Delta 3.1$ ポイント(同+3.3ポイント)とマイナスとなった。



## 設備投資額（支払ベース）



## 製造業

I期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、38.9%で前年同期より10.3ポイント低下した。総投資額は、352億76百万円(前年同期440億34百万円)で、大手の化学、電気機械などで減少したことを主因に、前年同期比19.9%減少となった。うち、県内投資額は338億3百万円(同437億20百万円)であった。

設備投資を目的別にみると、2022年I期と比べ、「既存設備の補修更新」、「合理化・省力化」、「環境対策」などで比率が低下した一方、「増産・拡販のため」、「研究開発」などで上昇した。

先行きの計画をみると、II期の総投資額は約588億円で前年同期比224.8%増、続くIII期は約213億円で同14.0%減の見込み。今後1年間の投資意欲は、「増やしたい」とする企業割合(22.1%)が「減らしたい」(18.9%)を3.2ポイント上回り、13期ぶりにプラスに転じた。

## 非製造業

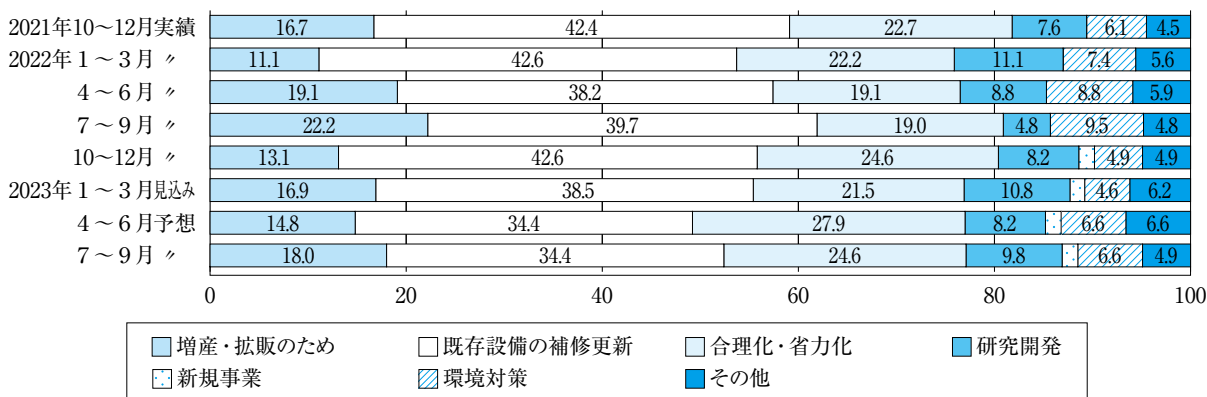
I期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、26.8%で前年同期より5.4ポイント低下した。総投資額は40億14百万円(前年同期24億82百万円)で、同61.7%増となった。県内投資額は29億50百万円(同23億89百万円)となっている。

目的別にみると、2022年IV期と比べ、「店舗等の移転」、「拡販のため」、「新規事業」などの比率が低下した一方、「既存設備の補修更新」、「合理化・省力化」、「研究開発」で上昇した。

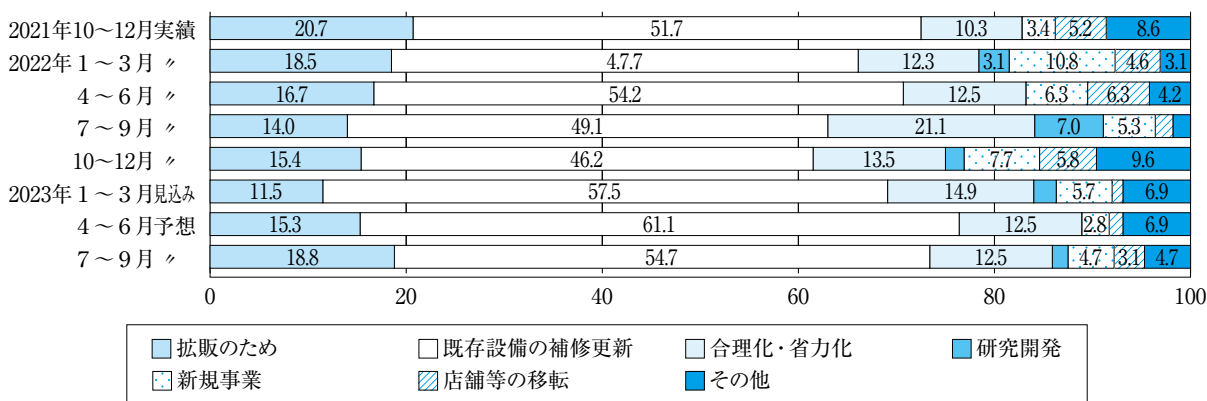
先行きの計画をみると、II期の総投資額は約168億円で前年同期比860.1%増、続くIII期は約18億円で同8.6%減となる見込み。今後1年間の投資意欲は、「増やしたい」とする企業割合(18.4%)が「減らしたい」(21.5%)を3.1ポイント下回り、2期ぶりにマイナスに転じた。

設備投資の目的

(1) 製造業



(2) 非製造業



(複数回答)

回答企業の概要

		(社)		
		総数	製造業	非製造業
資本金規模	1百万円未満	5	0	5
	1~3百万円未満	5	1	4
	3~5百万円未満	28	6	22
	5~10百万円未満	33	8	25
	10~50百万円未満	197	46	151
	50~1億円未満	60	25	35
	1億円以上	28	9	19
	計	356	95	261
従業員数	10人未満	74	10	64
	10~30人未満	107	35	72
	30~50人未満	53	13	40
	50~100人未満	53	8	45
	100~200人未満	32	10	22
	200~300人未満	15	8	7
	300~	22	11	11
計	356	95	261	

		(社)	
		業種	回答
製造業	食料品		18
	繊維製品		3
	木材・木製品		14
	パルプ・紙		3
	化学工業		9
	窯業・土石		5
	機械・金属		31
	その他		12
	計		95
非製造業	建設業		49
	運送業		19
	卸売業		50
	小売業		40
	サービス業		99
	その他		4
計		261	
総数		356	

## 参考資料

## B S I

## (1) 業況判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2021年7～9月実績	8	63	29	△21	△17	5	65	30	△25	△23	10	61	29	△19	△16
10～12月々	20	63	17	3	△8	26	53	21	5	△8	18	66	16	2	△8
2022年1～3月々	14	57	29	△15	△13	11	58	31	△20	△14	15	57	28	△13	△11
4～6月々	14	51	35	△21	△17	7	57	36	△29	△25	17	48	35	△18	△13
7～9月々	11	58	31	△20	△15	17	43	40	△23	△21	8	66	26	△18	△14
10～12月々	13	65	22	△9	△20	15	54	31	△16	△28	12	71	17	△5	△15
2023年1～3月見込み	<b>18</b>	<b>53</b>	<b>29</b>	<b>△11</b>	<b>△9</b>	<b>15</b>	<b>52</b>	<b>33</b>	<b>△18</b>	<b>△12</b>	<b>19</b>	<b>53</b>	<b>28</b>	<b>△9</b>	<b>△8</b>
4～6月予想	15	54	31	△16	△12	13	52	35	△22	△18	16	55	29	△13	△8
7～9月々	11	66	23	△12	△7	12	65	23	△11	△8	11	66	23	△12	△8

## (2) 売上げ判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2021年7～9月実績	23	39	38	△15	△10	23	33	44	△21	△19	23	42	35	△12	△8
10～12月々	40	40	20	20	1	57	26	17	40	13	32	47	21	11	△6
2022年1～3月々	28	37	35	△7	1	30	29	41	△11	7	27	41	32	△5	△1
4～6月々	29	36	35	△6	△1	31	30	39	△8	△2	28	39	33	△5	3
7～9月々	26	44	30	△4	1	33	34	33	0	2	22	49	29	△7	△2
10～12月々	32	49	19	13	△5	41	28	31	10	△16	27	60	13	14	△2
2023年1～3月見込み	<b>28</b>	<b>42</b>	<b>30</b>	<b>△2</b>	<b>6</b>	<b>33</b>	<b>29</b>	<b>38</b>	<b>△5</b>	<b>12</b>	<b>27</b>	<b>46</b>	<b>27</b>	<b>0</b>	<b>3</b>
4～6月予想	26	48	26	0	5	29	40	31	△2	4	24	51	25	△1	6
7～9月々	18	62	20	△2	3	20	59	21	△1	1	17	63	20	△3	3

## (3) 経常利益判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2021年7～9月実績	20	43	37	△17	△13	18	39	43	△25	△19	21	45	34	△13	△12
10～12月々	30	45	25	5	△8	47	22	31	16	△2	23	55	22	1	△10
2022年1～3月々	24	41	35	△11	△6	26	33	41	△15	△7	22	46	32	△10	△6
4～6月々	21	39	40	△19	△15	22	27	51	△29	△25	21	44	35	△14	△7
7～9月々	22	42	36	△14	△10	20	32	48	△28	△22	22	48	30	△8	△7
10～12月々	23	53	24	△1	△13	28	38	34	△6	△25	20	61	19	1	△10
2023年1～3月見込み	<b>24</b>	<b>43</b>	<b>33</b>	<b>△9</b>	<b>△6</b>	<b>26</b>	<b>37</b>	<b>37</b>	<b>△11</b>	<b>△3</b>	<b>23</b>	<b>45</b>	<b>32</b>	<b>△9</b>	<b>△6</b>
4～6月予想	19	49	32	△13	△8	19	44	37	△18	△13	19	51	30	△11	△4
7～9月々	14	61	25	△11	△7	18	54	28	△10	△3	12	64	24	△12	△11

(注) B S I = (好転) - (悪化)